ノートパソコン用 CD-R ドライブ

CDR-P420

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
　A:3.5インチフロッピーディスクドライブ
　C:ハードディスクドライブ
・本製品を「CDR」と表記しています。
・文中[　]で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
・CD-ROM、音楽CD、CD-Rメディアを合わせて「CD」と表記しています。
・付属のWinCDRユーザーガイドには、CD-Rに関しての用語集が記載されています。本書に意味が分からない用語があったときは、WinCDRユーザーガイドの用語集を参考にしてください。

著作権について

著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。CDRを使用しての複製の際は、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：感電注意)が描かれています。
⃠	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。火災や感電の恐れがあります。

ACアダプタ、IDEカード、IDE用ケーブルは必ず本製品付属のものをご使用ください。

本製品の付属品以外のACアダプタ、IDEカード、IDE用ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。本製品の故障の原因ともなります。

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。

火災や感電の恐れがあります。

ACアダプタを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。

火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

・設置時に、ACアダプタを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしなでください。

・重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。

・熱器具を近付けたり、加熱しないでください。

・ACアダプタを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

・極端に折り曲げないでください。

・ACアダプタを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、ACアダプタが傷んだら、弊社インフォメーションセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

ACアダプタは、AC100V（50/60Hz）のコンセントに完全に差し込んでください。

海外などで異なる電圧での使用や、不完全な差し込みでの使用は、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする危険があります。

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

濡れた手で本製品に触れないでください。

ACアダプタがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに電源スイッチをOFFにし、コンセントからACアダプタを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。

弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐに電源スイッチをOFFにし、コンセントからACアダプタを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、電源スイッチをOFFにし、コンセントからACアダプタを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

禁止

レーザー光線を直視しないでください。

トレーを開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。レーザー光が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

⚠ 注意

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

禁止

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は､本製品を破損､またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

禁止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

通風口やファンをふさいだり、他の機器と密着させないでください。故障の原因となります。

強制

本製品の電源スイッチは、パソコンよりも先にONにしてください。
一度OFFにした電源をONにし直すときは、少なくとも数秒待って行ってください。

本製品の故障、データの消失・破損の恐れがあります。

禁止

アクセスランプが点灯している間は、電源スイッチをOFFにしたり、パソコンを再起動しないでください。

データが消失、破損する恐れがあります。

注意

ヘッドホンをご使用になる場合、ボリュームを大きくしないでください。

大きな音で長時間ヘッドホンをご使用になると、聴覚障害の原因となります。

禁止

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

強制

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

強 制

定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

本製品内部のレンズ等に、ほこりやたばこの煙等が付着し、CDの再生が正常にできなくなったり、CD-Rメディアに書き込みができなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

禁 止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

・強い磁界、静電気が発生するところ
・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
・ほこりの多いところ
　→故障の原因となります。
・振動が発生するところ
　→けが、故障、破損の原因となります。
・平らでないところ
　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・直射日光が当たるところ
・火気の周辺、または熱気のこもるところ
　→故障や変形の原因となります。
・漏電、漏水の危険があるところ
　→故障や感電の原因となります。

禁 止

CD-Rメディアの反射層が剥離する原因となりますので、次のことは行わないでください。

・CD-Rメディアの表面（レーベル面）に傷を付けないでください。
・CD-Rメディア同士を重ねないでください。
・レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなどの先の硬い筆記用具を使用しないでください。
・CD-Rメディアにシールやラベルなどを貼らないでください。

禁 止

通風口をふさいだり、他の機器と密着させないでください。

故障の原因となります。

注 意

CD-ROM、音楽CD、CD-Rメディア（以後CDと表記）は下記の点に注意して大切にお使いください。

・直射日光を当てないでください。
・ベンジン、シンナー等の薬品を使ってお手入れをしないでください。
　CDの汚れは、少量の水で湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。必ず、中心から外側へと向って軽く拭き取ってください。
・CDの表面に傷を付けたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。
・高温､多湿になる場所や､ほこりの多い場所に置かないでください。
・CDの表面に手を触れないでください。
　CDの両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。
・CDを持ち運ぶときは､必ずプラスチックケースに入れて大切に取り扱ってください。

ひびわれや変形、補修したCDは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

本製品にCDを入れたまま移動させないでください。

本製品の動作中または、CDを本製品に入れた状態での移動はしないでください。CD、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずCDを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

IDEカードのコネクタ、IDE用ケーブルのコネクタを破損しないよう注意してください。

・取り付け／取り外し時や使用中に無理な力を加えないでください。

・取り外しを行うときは、必ずIDE用ケーブルのコネクタのロックを押さえながら抜いてください。

目 次

1 製品概要

CDRの特長などについて説明しています。

特長

● **CD-Rメディアに書き込み可能**

CDRは、CD-Rメディアにデータを書き込めます。転送速度は次のとおりです。

・書き込み時: 600KB/sec(4倍速)、300KB/sec(2倍速)、150KB/sec(1倍速)

・読み出し時: 最大3000KB/sec(20倍速)

● **CD TEXTの作成/再生が可能**

CD TEXTは、音楽CDに曲名などの文字情報を追加したものです。CD TEXTに対応したCDプレーヤーで文字情報を表示できます。

※WinCDR付属のCDプレーヤーは、CD TEXTに対応しています。ただし、表示できるのは半角英数字の文字情報のみで、日本語の表示には対応していません。

● **多彩なフォーマット形式をサポート**

次のCDのフォーマット形式をサポートしています。

CDのフォーマット形式	読み出し	書き込み	
		WinCDR	PacketCD
CD-DA(音楽CD)	○	○	ー
CD TEXT	○(*1)	○	ー
CD-ROM(Mode1)	○	○	○
CD-ROM XA	○	○	ー
Photo CD	○(*2)	○(*3)	ー
Video CD	○(*2)	○(*4)	ー
CD Extra	○	○	ー

○:サポートする
ー:サポートしない

*1 パソコンで再生する場合、再生ソフトウェアがCD TEXTに対応している必要があります。オーディオ機器で再生する場合、オーディオ機器がCD TEXTに対応している必要があります。

*2 読み出しには、再生ソフトウェアまたはハードウェアが別途必要です。

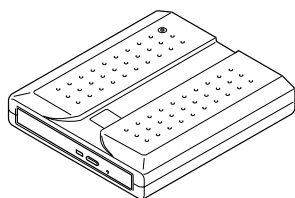
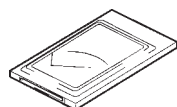
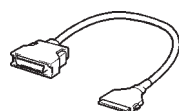
*3 JPEGファイルなどの画像データは、Photo CD形式ファイルへは変換できません。

4 Video CD形式ファイルへの変換にはVideo CDの規格に準拠したファイル形式(.MPGなど)でキャプチャしたデータが必要です。キャプチャには市販のキャプチャボードを使用してください。

● **CDのバックアップが可能**

CD-ROMドライブから直接バックアップするオンザフライ・バックアップと、ハードディスクにCDのイメージを作成してからバックアップする方法があります。

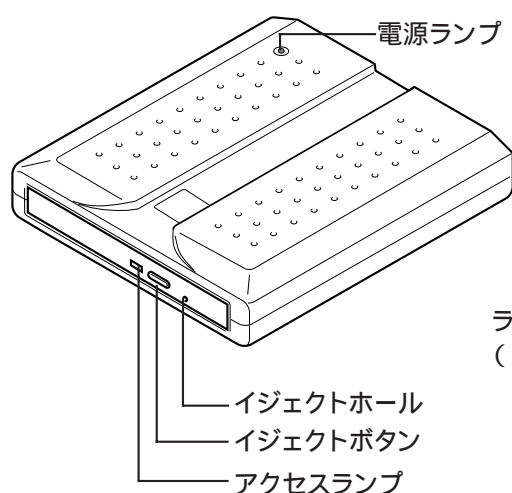
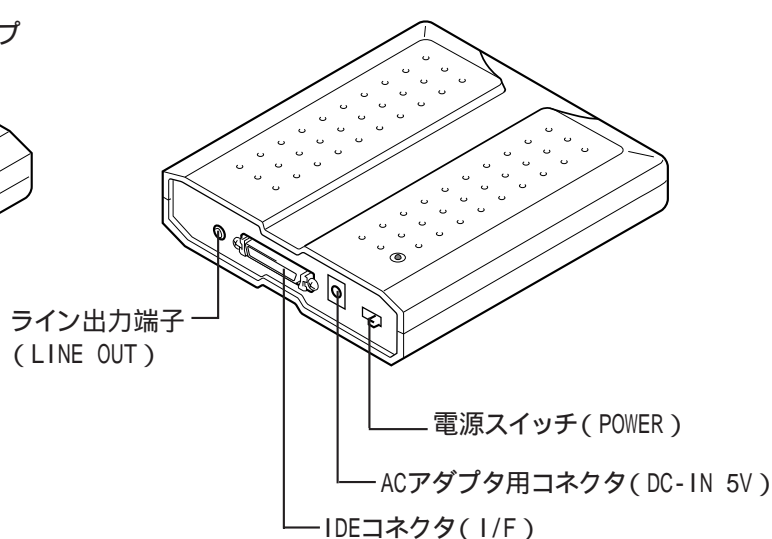
パッケージ内容

パッケージには、次の物が梱包されています。万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。

- CDR（本体） 1台
- IDEカード 1枚
- IDE用ケーブル 1本
  （本体側：アンフェノール36ピン）
- ACアダプタ（5V、2.3A） 1個
- ドライバディスク
  （3.5型フロッピーディスク） 1枚
- CD-ROM 1枚
  ※ ライティングソフトウェア「WinCDR」および「PacketCD」が収録されています。
- CD-Rメディア（650MB/74分） 2枚
- ユーザーズマニュアル（本書） 1冊
- WinCDRユーザーガイド 1冊
  ※ WinCDRユーザーガイドの巻末には、お客様登録カード（株式会社アプリックス）がとじ込まれています。必要事項を記入の上、必ずご返送ください。
- PacketCDユーザーガイド 1冊
- ユーザー登録はがき、保証書
  （株式会社メルコ） 1枚
  ※ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は、大切に保管してください。
  ※ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

各部の名称

● 前面

● 背面

1

製品概要

2 セットアップ

CDRをパソコンに取り付ける手順、ドライバのインストール手順、CDRの使いかたについて説明しています。

セットアップ手順

CDRのセットアップ手順は次のとおりです。
事前にPCカードドライバが正しくインストールされているか確認しておいてください。【P11、12】

パソコン→周辺機器の順に電源スイッチをOFFにする

▼

CDRとIDE用ケーブル・IDEカード・ACアダプタ（付属品）を接続する【P14】

▼

CDRの電源スイッチをONにする

▼

周辺機器（CDRを含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにし、IDEカードをパソコンに接続する

▼

IDEカードのドライバをインストールする【P15】

▼

ライティングソフトウェアをインストールする

▼

「WinCDR」を使用するとき
【別冊「WinCDRユーザーガイド」参照】

▼

「PacketCD」を使用するとき
【別冊「PacketCDユーザーガイド」参照】

取り付けの前に

注意事項

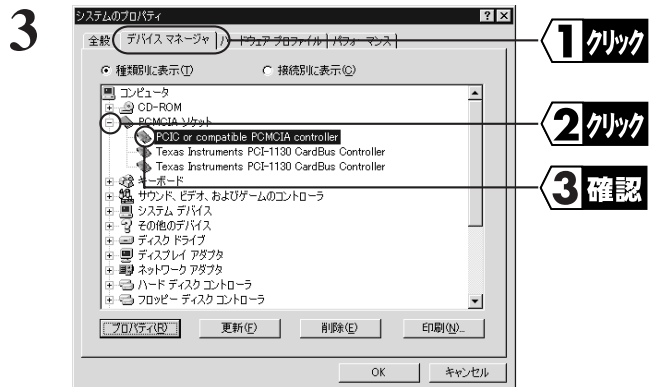
- **パソコンの電源スイッチをOFFにする前に、ハードディスク内の大切なデータを他のメディア（フロッピーディスク、MOディスクなど）に保存し、すべてのアプリケーションを終了してください。**
- **パソコンおよびCDRは精密機器です。「安全にお使いいただくために必ずお守りください」および「CDRの取り扱いに関する注意」【P18】を必ず参照してください。**
- **パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や各種設定は、各マニュアルを参照してください。**
- **パソコン側の取り付け／取り外しは、パソコンのマニュアルを参照してください。**
- **CDRを使用するためには次の物が必要です。事前に用意してください。**
  ・パソコン本体のマニュアル
  ・本製品および付属品
- **使用しているOSやパソコンの機種に応じて確認作業を行ってください。**
  該当するページを参照してください。
  ・Windows98を使用しているとき　【P11】
  ・Windows95を使用しているとき　【P12】
  ・NEC PC98-NXシリーズを使用しているとき　【P13】

Windows98を使用しているとき

CDRをパソコンに取り付ける前に、PCカードドライバが正しくインストールされているか確認する必要があります。

1 **[スタート] − [設定(S)] − [コントロール　パネル(C)] を選択します。**

2 **[システム] アイコンをダブルクリックします。**

3

[PCMCIA controller] に×や!が付いていないか確認します。
※ **表示されるPCMCIAコントローラーの名称は、パソコンの機種によって異なります。**

×や!が付いていないとき

正しく設定されています。そのままIDEカードのドライバをインストールできます。

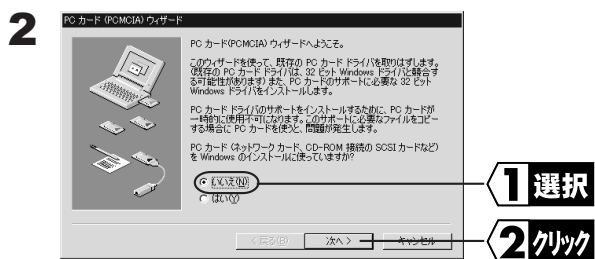
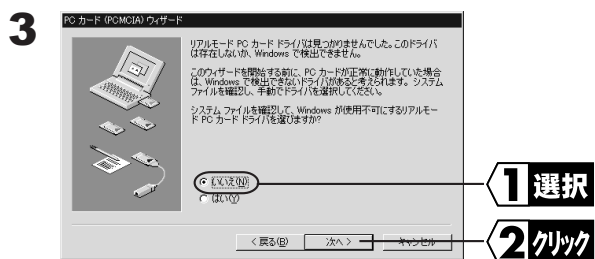
×や!が付いているとき

次の手順に従って設定を変更してください。
※ **PC98-NXシリーズを使用しているときは、次の操作を行う前に「CyberTrio-NX」をアドバンストモードに変更してください。【P13「NEC PC98-NXシリーズを使用しているとき」】**

1 **×や!が付いているPCMCIAコントローラをダブルクリックします。**
[PCカード(PCMCIA)ウィザード] が起動します。

2

[いいえ(N)] を選択し、[次へ>] ボタンをクリックします。

3

[いいえ(N)] を選択し、[次へ>] ボタンをクリックします。

4 **「PCカードウィザードが完了しました。」というメッセージが表示されます。[完了] ボタンをクリックします。**

Windows95を使用しているとき

CDRをパソコンに取り付ける前に、PCカードドライバが正しくインストールされているか確認する必要があります。

1　[ｽﾀｰﾄ] ー [設定(S)] ー [ｺﾝﾄﾛｰﾙ ﾊﾟﾈﾙ(C)] を選択します。

2　[ｼｽﾃﾑ] アイコンをダブルクリックします。

3

[PCMCIA controller] に×や!が付いていないか確認します。
※ PCMCIAコントローラーの名称は、パソコンの機種によって異なります。

×や!が付いていないとき

正しくインストールされています。そのままIDEカードのドライバをインストールできます。

×や!が付いているとき

次の手順に従ってインストールし直してください。
※ PC98-NXシリーズを使用しているときは、次の操作を行う前に「CyberTrio-NX」をアドバンストモードに変更してください。【P13「NEC PC98-NXシリーズを使用しているとき」】

1　×や!が付いているPCMCIAコントローラをダブルクリックします。
[PCｶｰﾄﾞ (PCMCIA)ｳｨｻﾞｰﾄﾞ] が起動します。

2

[いいえ(N)] を選択し、[次へ>] ボタンをクリックします。

3

[いいえ(N)] を選択し、[次へ>] ボタンをクリックします。

4

［完了］ボタンをクリックします。

5

［はい(Y)］ボタンをクリックします。

Windows95を再起動したら、もう一度［ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ］を開き、［PCMCIA controller］に×や!が付いていないか確認してください。

※ 正常にインストールできないときは、パソコンのマニュアルを参照するか、パソコンのメーカにお問い合わせください。

NEC PC98-NXシリーズを使用しているとき

CyberTrio-NXがインストールされている機種（※）では、CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、IDEカードのドライバをインストールできないことがあります。ドライバをインストールする前に、必ずアドバンストモードに変更してください。

※ CyberTrio-NXは、Windows98/95インストールモデルに標準でインストールされています。CyberTrio-NXがインストールされていると、タスクバーにCyberTrio-NXのインジケータ が表示されます。

メモ CyberTrio-NXのモードの確認方法

タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータ の色で確認できます。

赤	**アドバンストモード**	設定を変更する必要はありません。
黄	**ベーシックモード**	アドバンストモードに設定を変更してください。
緑	**キッズモード／カスタムモード**	アドバンストモードに設定を変更してください。

メモ CyberTrio-NXのモードの変更方法

再起動後もアドバンストモードになるように設定を変更します。

1. **［ｽﾀｰﾄ］－［ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(P)］－［CyberTrio-NX］－［Go To ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾓｰﾄﾞ］を選択します。**
   アドバンストモードに切り替わります。

2. **［ｽﾀｰﾄ］－［ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(P)］－［CyberTrio-NX］－［CyberTrio-NX ｾｯﾄｱｯﾌﾟ］を選択します。**

3. **［CyberTrio-NXのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ］ダイアログボックスが表示されます。［ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾓｰﾄﾞ］を選択して［OK］ボタンをクリックします。**
   詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。

以上でアドバンストモードに設定されました。
IDEカードのドライバをインストールした後やWindows98/95の設定が終了した後は、アドバンストモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

CyberTrio-NX

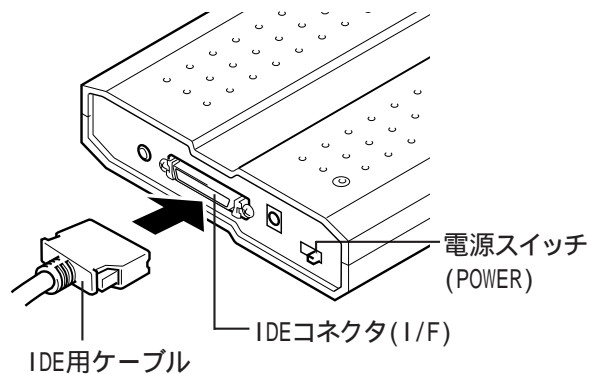
CyberTrio-NXは、パソコンを使う人ごとにWindows98/95の動作範囲やアクセスできるフォルダを限定します。詳しくはパソコン本体のマニュアルを参照してください。

CDRの取り付けかた

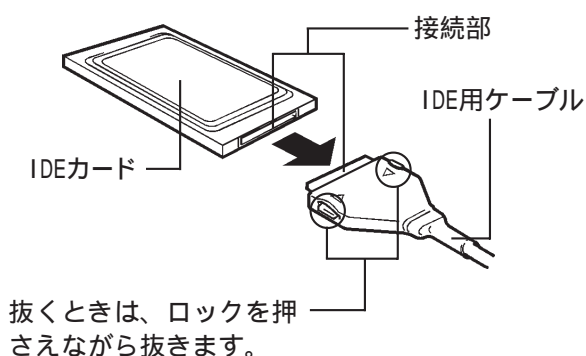
CDRにIDEカードとACアダプタを接続し、パソコンに取り付ける準備をします。

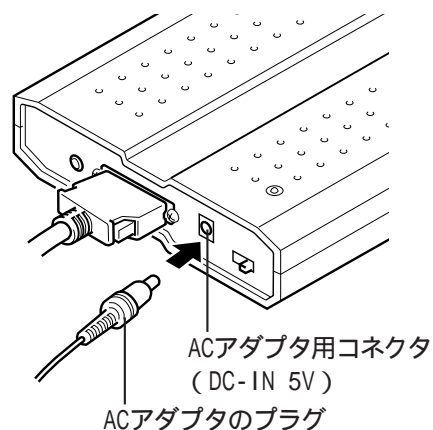
⚠注意 IDEカード、IDE用ケーブル、ACアダプタは、必ずCDRの付属品を使用してください。付属品以外のものを使用すると、CDRやパソコンが破損するおそれがあります。

1 CDRの電源スイッチをOFFにします。付属のIDE用ケーブルを、CDR背面のIDEコネクタ（I/F）に取り付けます。

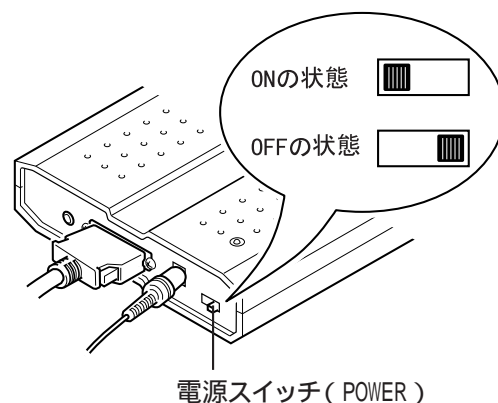
コネクタの向きを合わせて、まっすぐに押し込みます。

2 IDEカードにIDE用ケーブルのもう一方のコネクタを取り付けます。

▽のある面を上にして「カチッ」と音がするまで押し込みます。

⚠注意 接続部は精密な構造になっているため、取り付け／取り外し時や使用中に、無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。

3 付属のACアダプタをCDR背面のACアダプタ用コネクタ（DC-IN 5V）に接続します。

4 ACアダプタの電源プラグをコンセントに接続します。

5 CDRの電源スイッチをONにします。

以上でCDRとIDEカードの取り付けは完了です。

↘次へ 「ドライバのインストール」【P15】を参照し、使用しているOSに合ったドライバをインストールしてください。IDEカードは、ドライバのインストール時にパソコンに取り付けます。

ドライバのインストール

使用しているOSに応じて、IDEカードのドライバをインストールします。

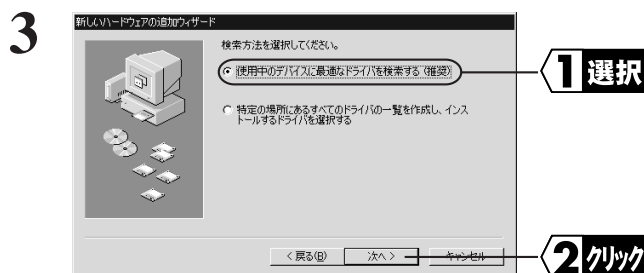
Windows98

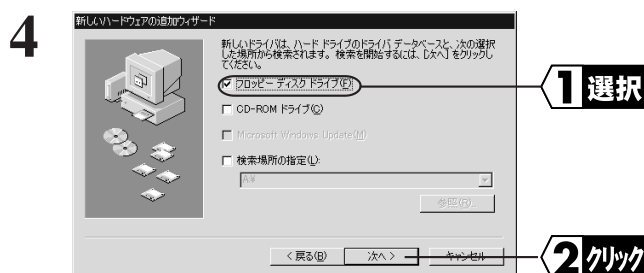
⚠注意 **次の操作をする前に、PCカードドライバがインストールされているか確認してください。【P11】**

1　周辺機器（CDRを含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにします。Windows98が起動したら、CDRを接続したIDEカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。

IDEカードが自動的に認識され、［新しいハードウェアの追加ウィザード］が起動します。
［新しいハードウェアの追加ウィザード］が起動しなかったときは、「IDEカードを挿入してもウィザード（または新しいハードウェア）が起動しない」【P24】を参照してドライバを更新してください。

2　「次の新しいドライバを検索しています...」というメッセージが表示されます。［次へ］ボタンをクリックします。

3

［使用中のデバイスに最適なドライバを選択する（推奨）］を選択して［次へ>］ボタンをクリックします。

4

付属のドライバディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。［フロッピーディスクドライブ(F)］を選択し、［次へ>］ボタンをクリックします。

5

［次へ>］ボタンをクリックします。

「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした。」と表示されたときは、［<戻る(B)］ボタンをクリックし、手順 **4** からやり直してください。

6 **「新しいハードウェアに必要なソフトウェアがインストールされました。」というメッセージが表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。**

以上でドライバのインストールは完了です。

次へ 【P18「取り扱いかた」】

Windows95

注意 **次の操作をする前に、PCカードドライバがインストールされているか確認してください。【P12】**

1 **周辺機器(CDRを含む)→パソコンの順に電源スイッチをONにします。**
Windows95が起動したら、CDRを接続したIDEカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。

IDEカードが自動的に認識され、[デバイス ドライバ ウィザード]が起動します。
[デバイスドライバ ウィザード]が起動しなかったときは、「IDEカードを挿入してもウィザード(または新しいハードウェア)が起動しない」【P24】を参照してドライバを更新してください。

2

付属のドライバディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。[次へ>]ボタンをクリックします。

3

「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。」というメッセージが表示されます。[完了]ボタンをクリックします。

「ドライバが見つかりませんでした。」と表示されたときは[<戻る(B)]ボタンをクリックし、手順2からやり直してください。

4

付属のドライバディスクがフロッピーディスクドライブにセットされていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。

5

[ファイルのコピー元(C)]にA:\と入力して[OK]ボタンをクリックします。
(下線部にはフロッピーディスクドライブのドライブ名を入力します。)

以上でドライバのインストールは完了です。

次へ 【P18「取り扱いかた」】

セットアップ後の確認

セットアップが完了すると、次の2つのデバイスが新しく登録されたことを［デバイス マネージャ］（※）で確認できます。

・CD-Rドライブのデバイス .... ［SONY CD-R CRX510E］（デバイスは、［CD-ROM］内に登録されます。）

・IDEカードのデバイス .... ［MELCO IDE CardBus Driver］（デバイスは［ハードディスクコントローラ］の中に登録されます。）

※ ［デバイス マネージャ］の表示方法

① ［マイコンピュータ］アイコンを右クリック

② ［プロパティ(R)］を選択

③ ［デバイス マネージャ］タブをクリック

2

セットアップ

3 取り扱いかた

CDRの基本的な操作方法を説明します。

CDRの取り扱いに関する注意

- IDEカード、IDE用ケーブル、ACアダプタは、必ずCDRに付属のものを使用してください。付属品以外のものを使用すると、CDRやパソコンが故障するおそれがあります。
- 長時間CDRを使用しないときは、必ずコンセントとCDRからACアダプタを取り外してください。
- IDE用ケーブルは強く引っぱらないでください。破損の原因になります。
- IDEカード、IDE用ケーブル、ACアダプタなどのコネクタ接続部を無理に引っぱったり、強い力を加えたりしないでください。破損の原因になります。
- CD-Rメディアへの書き込み中やCDの再生中にCDRを動かしたり、振動の多いところで使用したりしないでください。
- CDはトレーの中心にある軸に確実にセットしてください。確実にセットしないと、CDやCDRの破損の原因となります。
- CDRを不安定な場所（平らでない場所、傾いた場所など）に設置しないでください。
- パソコンの使用中や電源スイッチをOFFにした直後は、IDEカードが高温になることがあります。取り扱いには十分注意してください。
- CDRの上に物を置かないでください。

CD-Rメディアの取り扱いに関する注意

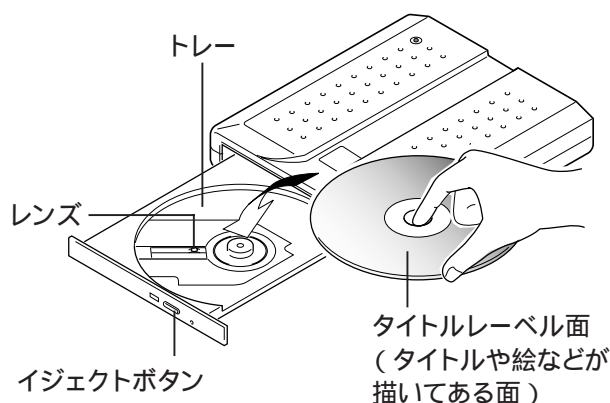
CD-Rメディアは繊細なメディアです。わずかな傷や汚れの付着によっても正常に書き込めなくなるおそれがあります。取り扱いには十分注意し、次の事項を必ず守ってください。

- 直射日光に長時間さらさないでください。
- 記録面に手を触れないでください。
- 記録面にゴミやほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーで除去してください。
- CD-Rメディアにシールやラベルなどを貼らないでください。
- CD-Rメディア同士を重ねないでください。
- レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなど先の硬い筆記具は使用しないでください。
- CD-Rメディアに傷を付けないでください。

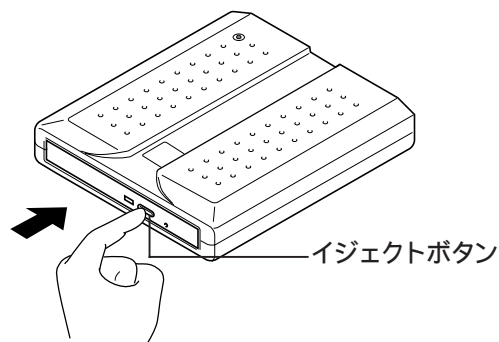
CDのセット／取り出し

● **CDをセットする**

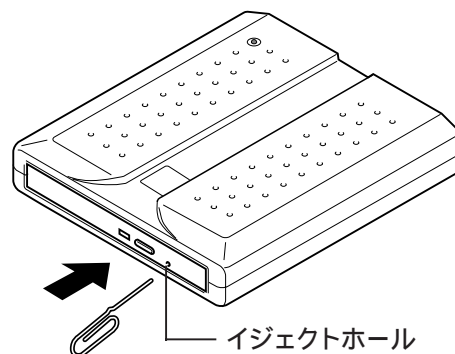
イジェクトボタンを押してトレーを出し、トレーの中心にある軸にCDを固定します。
CDを固定したら、トレーがロックされるまで押し込みます。

⚠注意 レンズには触らないでください。

● **CDを取り出す**

イジェクトボタンを押すとトレーが排出されます。
CDを取り出したら、トレーがロックされるまで押し込みます。

⚠注意 CDRの電源スイッチがOFFになっているときは、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。

● **トレーが出てこないとき**

停電などによってCDをセットしたままの状態で電源が切れると、イジェクトボタンを押してもトレーが排出されなくなります。
その場合は、ゼムクリップを伸ばした物などをイジェクトホールに差し込んで、強制的にトレーを排出させます。

⚠注意 この操作はCDRの電源スイッチをOFFにして30秒以上経ってから行ってください。電源スイッチをOFFにした直後はCDR内でCDが回転しているので、強制的に排出するとCDやCDRを破損するおそれがあります。

4 書き込みと読み出し

CD-Rメディアへの書き込みと読み出しについて説明しています。

書き込みを失敗しないために

書き込みを失敗しないために、書き込みをする直前に次の設定・確認をしてください。
設定を行わないと、書き込み中に「データ転送が間に合いませんでした」というメッセージが表示され、バッファアンダーラン(*)と呼ばれる書き込みエラーが発生します。

***: 書き込み中にCDRのバッファが空になり、正常に書き込めなくなる現象。書き込み中にCPUに負荷のかかる作業が行われたときなどに発生します。バッファアンダーランの発生したCD-Rメディアは書き込みも読み出しもできなくなりますが、「WinCDR」のリペア機能で復旧処理を行えば、残りの容量への書き込みや読み出しが可能になることがあります。詳しくは「WinCDRユーザーガイド」を参照してください。**

● **ハードディスクの空き容量を確認しておいてください。**
800MB以上の空き容量を確保することをおすすめします。空き容量が少ない場合は、不要なファイルを削除するか、新しくハードディスクを増設してください。

● **自動的に起動するプログラム(スクリーンセーバーなど)は、すべて終了してください。**
付属のライティングソフトウェア「WinCDR」を起動しているときは、本製品でのCDの自動再生機能(オートラン)が無効になります。

● **パソコン本体の省電力モードを無効にしてください。**
レジューム機能、スリープ機能は使用しないでください。

● **ネットワーク接続中は、書き込みをしないでください。**
LANなどのネットワーク環境に接続しているときは、ネットワークに接続しないように設定を変更し、パソコンを再起動してください。

● **ライティングソフトウェア以外のアプリケーションを起動しないでください。**
起動しているアプリケーションはすべて終了してください。

● **書き込み動作確認メディア**
弊社で書き込み動作を確認したCD-Rメディアは次のとおりです。
太陽誘電、TDK、三井化学

書き込み

CD-Rメディアにデータを書き込むときは、CDR付属の「WinCDR」または「PacketCD」を使用します。「WinCDRユーザーガイド」「PacketCD ユーザーガイド」を参照し、各ソフトウェアをインストールしてください。

⚠注意 **著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。CDRを使用して複製するときは、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。**

⚠注意 WinCDRまたはPacketCDで書き込んだメディアには、他のライティングソフトウェアでは追記できません。

WinCDR、PacketCDの操作方法や製品情報は、「株式会社アプリックス ユーザサポート」までお問い合わせください。【「WinCDRユーザーガイド」1ページ参照】
CDRの操作方法や製品情報は、株式会社メルコ インフォメーションセンターまでお問い合わせください。【本書の裏表紙参照】

● **WinCDRの特徴**
・ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
・WinCDRで作成したメディアは、Macintoshでも読み出せます。
※ ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます。
※ ボリュームラベルとして使用できる文字は、0〜9およびA〜Z(大文字)です。

● PacketCDの特徴

・小さなパケット単位で書き込むので、バッファアンダーランが発生しません。
・小さなファイルを記録する場合も、ディスク容量が無駄になりません。
・ハードディスクなどにデータをコピーする感覚(マウスでのドラッグ&ドロップ操作)でデータを書き込めます。
・PacketCDで作成したメディアは、Windows98/95がインストールされていないパソコンでは読み出せません。また、Macintoshでも読み出せません。

● WinCDRとPacketCDの比較

○:対応　ー:非対応

	WinCDR	PacketCD
ISO9660(CD-ROMの標準ファイルフォーマット)	○	ー
CD-DA(音楽CDフォーマット)	○	ー
CD TEXT	○	ー
Mixed Mode CD(CD-DAとデータの混在フォーマット)	○	ー
CD-ROM XA(ビデオ、テキスト、音楽の混在フォーマット)	○	ー
フォトCD(フォトCDイメージファイル)	○	ー
CD-ROM　Mode1	○	○
CD Extra(ブルーブック0.9までをサポート)	○	ー
マルチセッションサポート(追記記録方式)	○	○
パケットライト(追記記録方式)	ー	○
ディスクアットワンス	○	ー
トラックアットワンス	○	ー
セッションアットワンス	○	ー
バーチャルイメージからのオンザフライ書き込み ・中間ファイルを作成せず、CDイメージをリアルタイムで書き込む	○	○
ハードディスク上でのISOイメージ作成 ・CDイメージをハードディスクに作成してからCDへ書き込むので、CDへ書き込む容量と同じ容量のハードディスクが必要	○	ー
CDを作成する前の書き込み前のテスト	○	ー
ロングファイル名サポート	○	○
Joliet(DOS名と64文字までのファイル名)	○	ー
DOSファイル名(8.3)	○	○
ISO9660レベル1標準(8.3)	○	ー

書き込み方式

CDR付属のライティングソフトウェア「WinCDR」と「PacketCD」は、それぞれ次の書き込み方式に対応しています。

書き込み方式	対応するソフトウェア
ディスクアットワンス	WinCDR
トラックアットワンス	WinCDR
セッションアットワンス	WinCDR
パケットライト	PacketCD

メディアの使用目的に応じてライティングソフトウェアと書き込み方式を選択してください。

● ディスクアットワンス方式

CDR付属のライティングソフトウェア「WinCDR」は、この書き込み方式に対応しています。

・リードインからリードアウトまでを1回で書き込む。
・1枚のCD-Rメディアに対して1回だけ書き込みができる(容量が残っていても追記できない)。
・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。
・CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。

メモ **WinCDRでの書き込み時に「Disc at once/Session at once」を選択すれば、ディスクアットワンス方式で書き込めます。**

● トラックアットワンス方式

CDR付属のライティングソフトウェア「WinCDR」は、この書き込み方式に対応しています。

・ディスク容量に空きがある限り、何度でも追記が可能。
・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

注意 **1回書き込むごとにリードアウトとリードインが書き込まれるため、約13〜23MBが余分に消費されます。また、WinCDRで「追記禁止」に設定して書き込みをすると、以降はそのCD-Rメディアには追記できなくなります。**

メモ **WinCDRでの書き込み時に「Track at once」を選択すれば、トラックアットワンス方式で書き込めます。**

● セッションアットワンス方式

CDR付属のライティングソフトウェア「WinCDR」は、この書き込み方式に対応しています。

音楽データとパソコンで使用可能なファイルデータを1枚のCDに記録するCD Extra形式でデータを書き込むときに、この書き込み方式を選択します。

・トラックアットワンス方式と違いリンクブロックが発生しないため、CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。
・CD-ROMの標準フォーマットであるISO9660と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

メモ **WinCDRで音楽データ(第1セッション)とファイルデータ(第2セッション)を書き込む際に「Disc at once/Session at once」を選択すれば、自動的にセッションアットワンス方式で書き込めます。**

● パケットライト方式

CDR付属のライティングソフトウェア「PacketCD」は、この書き込み方式に対応しています。

・パケット単位で書き込むため、事前に書き込むファイルを指定する必要がなく、ハードディスクなどのようにファイル単位で書き込み可能。
・パケットライトに対応していないCD-ROMドライブでは読み出せない。

読み出し

CDRは、CD-ROMドライブと同じようにCD-ROMの読み出しや音楽CDの再生ができます。

次のフォーマット形式を読み出せます。

・音楽CD(CD-DA)　・CD TEXT(*1)　・CD-ROM(Mode1)　・CD Extra
・Video CD(*2)　・Photo CD(*2)　・CD-ROM XA Mode2(Form1、Form2)

***1 再生用ソフトウェアがCD TEXTに対応している必要があります(WinCDR付属のCDプレーヤーは、CD TEXTに対応しています)。**

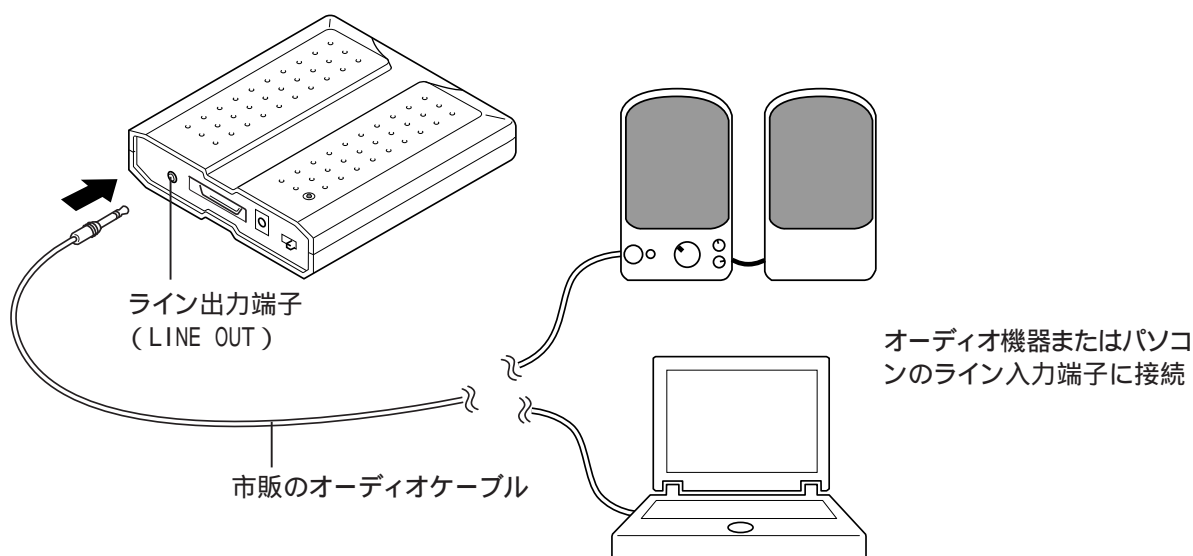
***2 読み出しには、再生用ソフトウェアまたはハードウェアが別途必要です。**

注意 **PacketCDで書き込んだメディアを他のパソコンで読み出す場合、読み出すパソコンにもPacketCDのドライバがインストールされている必要があります。インストールされていない場合、PacketCDで書き込んだメディアにアクセスすると、自動的にドライバのインストールプログラムが起動します。メッセージに従ってドライバをインストールしてください。**

5 音楽CDを聴く

CDRにオーディオ機器を接続すると、音楽CDを聴くことができます。

オーディオ機器の接続

CDRのオーディオ出力端子(LINE OUT)と、オーディオ機器やパソコンのライン入力端子を接続します。
接続には市販のオーディオケーブルを使用してください。

再生方法

音楽CDの再生には、WinCDRまたはWindowsに付属のCDプレーヤーを使用します。CDプレーヤーの起動方法は次のとおりです。

WinCDR付属のCDプレーヤー

[スタート]-[プログラム(P)]-[WinCDR]-[CDプレーヤー]と選択します。

操作方法は、CDプレーヤーのバルーンヘルプを参照してください。

Windows付属のCDプレーヤー

● Windows98

[スタート]─[プログラム(P)]─[アクセサリ]─[エンターテイメント]─[CDプレーヤー(*)]と選択します。
操作方法は、Windows98のヘルプを参照してください。
*: Microsoft社製「Microsoft Plus! 98」がインストールされている環境では、[デラックスCDプレーヤー]と表示されます。

● Windows95

[ｽﾀｰﾄ]─[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(P)]─[ｱｸｾｻﾘ]─[ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ]─[CDﾌﾟﾚｰﾔｰ]と選択します。
操作方法は、Windows95のヘルプを参照してください。

6 付録

トラブルの対処方法と製品の仕様を説明しています。

困ったときは

CDRを使用していて不具合が発生した場合に考えられる原因と対処方法を説明しています。不具合が発生した時は、まずここをお読みください。

一般的なトラブル

CDRが認識されない

CDRが正しく接続されていない

CDRがIDEカードに正しく接続されているか確認してください。【P14「CDRの取り付けかた」】

CDRの電源スイッチがOFFになっている

電源ランプが点灯していているか確認し、点灯していないときは電源スイッチをONにしてください。また、CDRのACアダプタがACコンセントに接続されているか確認してください。

Windows95のバージョンが古い

CDR付属のIDEカードは、Windows95のバージョン4.00.950 Bおよび4.00.950 Cにだけ対応しています。4.00.950もしくは4.00.950aでは使用できません。

※ Windows95のバージョンは次の手順で確認できます。
① [ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ] アイコンを右クリックします。
② [ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)]をクリックします。
③ [ｼｽﾃﾑ:] にバージョンが表示されます。

カードバスコントローラが認識されていない（東芝 Dynabookシリーズなど）

BIOSで、PCカードの項目を［PCIC互換（コンパチブル）］に設定してください。設定方法の詳細は、パソコンメーカにお問い合わせください。

IDEカードを挿入してもウィザード（または新しいハードウェア）が起動しない

OS標準のドライバが自動的にインストールされた

パソコンの機種によっては、IDEカードを挿入するとウィザードが起動せずにOSの用意しているドライバが自動的にインストールされることがあります。その場合は、次の手順で付属のドライバに収録されているドライバに更新してください。

① デスクトップ画面の左上にある［マイ コンピュータ］アイコンにマウスのカーソルを合わせ、右ボタンをクリックします。
② 表示されたメニューから［プロパティ(R)］ボタンをクリックします。
③ ［システムのプロパティ］が表示されたら、［デバイス マネージャ］タブをクリックします。
④ デバイスの一覧が表示されたら、［SCSIコントローラ］をダブルクリックします。
⑤ パソコンの起動時に自動的にインストールされたSCSIコントローラをダブルクリックします。 ＳＣＳＩコントローラの名称は、パソコンの機種によって異なります。
⑥ ［ドライバ］タブをクリックします。

次のページへ続く

⑦［ドライバの更新(U)］ボタンをクリックします。
⑧ CDR付属のドライバディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。
以降は画面の指示に従ってドライバを更新してください。

オーディオ機器から音楽CDの音が聴こえない

オーディオケーブルが正しく接続されていない

オーディオ機器やパソコンのマニュアルを参照して接続を確認してください。

トレーが排出されない

CDがトレーに正しくセットされていない

ゼムクリップを伸ばした物などをイジェクトホールに差し込んで、強制的に排出してください。【P19「トレーが出てこないとき」】

⚠注意 **この操作はCDRの電源スイッチをOFFにして30秒以上経ってから行ってください。電源スイッチをOFFにした直後に強制的に排出すると、CDやCDRを破損するおそれがあります。**

読み出し時のトラブル

2回以上書き込むと、前のセッションが読み出せない／読み出し時にエラーが発生する

書き込み時に、最後のセッションを読み込まないように設定している

ライティングソフトウェアで書き込む際に、最後のセッションを読み込まないように設定していると、新しく書き込んだセッションだけを読み出せるようになります。最後に書き込んだセッションも読み出したいときは、最後のセッションを参照するように設定して書き込んでください。

CDが汚れている、または破損している

CDが傷ついていたり表面に汚れが付着していると、正しく読み出せません。ほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーなどで除去してください。

CDが裏返しになっている

トレーからCDを取り出し、CDのラベル面を上に向けてトレーにセットしてください。

Photo CDが読み出せない

Photo CDのディスクに欠陥がある

他のPhoto CDが読み出せるか確認してください。読み出せるときは、読めないPhoto CDに欠陥があると考えられます。

作成したVideo CDが再生できない

弊社製MEG-VC1でキャプチャしたデータでVideo CDを作成した

弊社製MPEGキャプチャボードMEG-VC1に付属のソフトウェア「MPEGキャプチャ Ver2.1」以降でキャプチャしたMPEGファイルを使用してください。最新のソフトウェアは、弊社ホームページ【裏表紙参照】からダウンロードできます。

読み出し時に異音がする

CDにシールが貼られている	CDにシールなどを貼ると、CDの重心が偏り、回転時に振動が発生します。絶対にシールなどを貼らないでください。

CDのボリューム名が文字化けする

PacketCDで新しいCD-Rメディアをフォーマットする際に、65文字以上のボリューム名を入力した	ボリューム名は64文字以下にしてください。

書き込み時のトラブル

「データ転送が間に合いませんでした」というエラーメッセージが表示される（バッファアンダーランが発生する）

バッファアンダーランの発生したCD-Rメディアは書き込みも読み出しもできなくなりますが、「WinCDR」のリペア機能で復旧処理を行えば、残りの容量への書き込みや読み出しが可能になることがあります。詳しくは「WinCDRユーザーガイド」を参照してください。

ネットワークに接続している	ネットワークに接続しない設定にしてWindowsを再起動してください。
書き込み中にスクリーンセーバーが起動した	スクリーンセーバーを無効にしてください。
他のアプリケーションが起動している	ライティングソフトウェア以外のアプリケーションはすべて終了してください。
パソコンのメモリ不足	パソコンのメモリ容量が少ないと、バッファアンダーランが発生しやすくなります。メモリを増設してください。
ハードディスクの［オートサーマルリキャリブレーション機能］が動作した	高速ハードディスクには、「オートサーマルリキャリブレーション機能」を装備した機種があります。それらの機種を使用していてバッファアンダーランが発生するときは、他のハードディスクを使用してください。
選択している書き込み速度がパソコンに対応していない	十分なメモリ容量とCPU速度がない場合、4倍速や2倍速では書き込めません。1倍速で書き込んでください。
ハードディスクの空き容量が足りない	ハードディスクには800MB以上の空き容量を確保することをおすすめします。空き容量が少ない場合は、不要なファイルを削除するか、新しくハードディスクを増設してください。
パソコンの省電力モードが有効になっている	パソコン本体の省電力モード（レジューム機能やスリープ機能など）は使用しないでください。

CDにデータを書き込めない

ライティングソフトウェアを使用していない	CD-Rメディアにデータを書き込むには、ライティングソフトウェアを使用する必要があります。CDR付属のライティングソフトウェアを使用してください。
CD-ROM、音楽CD（CD-DA）がセットされている	データを書き込めるのはCD-Rメディアだけです。CD-Rメディアをセットし直してください。

CD-RWメディアがセットされている	CDRではCD-RWメディアには書き込めません。CD-Rメディアを使用してください。
CDRの電源が入っていない	CDRの電源スイッチがONになっているか、電源ケーブルがACコンセントに接続されているか確認してください。

CD-Rメディアに追記できない

ライティングソフトウェアが違っている	ライティングソフトウェアの仕様により、前回書き込みをしたライティングソフトウェアを使用しないと、CD-Rメディアに追記できません。前回使用したライティングソフトウェアで書き込んでください。
CD-Rメディアの容量が足りない	新しいCD-Rメディアに書き込んでください。
他社製CD-Rドライブで書き込んだCD-Rメディアを使用している	他社製のCD-Rドライブで書き込んだCD-Rメディアには追記できません。CDRで書き込んだCD-Rメディア、または新しいCD-Rメディアを使用してください。
バッファアンダーランの発生したCD-Rメディアを使用している	バッファアンダーランの発生したCD-Rメディアは書き込みも読み出しもできなくなりますが、「WinCDR」のリペア機能で復旧処理を行えば、残りの容量への書き込みや読み出しが可能になることがあります。詳しくは「WinCDRユーザーガイド」を参照してください。
トラックアットワンス書き込み時に「追記禁止」を選択している	ライティングソフトウェアで「追記禁止」に設定して書き込むと、書き込んだセッションが閉じられ、それ以降は追記できなくなります。別のCD-Rメディアにデータを書き込んでください。

音楽CDをキャプチャしたデータにノイズや音飛びが発生する

音楽CDを再生したCD-ROMドライブが対応していない	CD-ROMドライブによっては、正常に音楽CDをキャプチャできないものがあります。その場合は、CDRで音楽CDを再生してキャプチャしてください。
読み込み速度が適切でない	音楽CDによっては汚れや小さな傷などにより、読み込み時にノイズが発生することがあります。その場合は読み込み速度を1倍速に設定してください。設定方法は「WinCDRユーザーガイド」を参照してください。
音楽CDに傷がある	音楽CDの傷が原因で音飛びが発生することがあります。

書き込み時に「書き込み後コンペア」の項目を選択できない

音楽CDを書き込んでいる	音楽CDの書き込み時は、コンペアは行えません。そのため、これらの項目はグレー表示され、選択できません。

オンザフライ方式でCDのバックアップができない

CD-ROMドライブがオンザフライ方式に対応していない	CD-ROMドライブによっては、オンザフライ方式でCDのバックアップができないことがあります。その場合は、CDRにCDをセットしてバックアップを行ってください。

Windowsを再セットアップするとき

パソコンの環境によって必要な作業が異なります。

● **内蔵CD-ROMドライブがある場合**
パソコンに付属のセットアップ起動ディスクは内蔵CD-ROMドライブ用に作られています。内蔵CD-ROMドライブを使用して再セットアップしてください。

● **内蔵CD-ROMドライブがない場合（セットアップCDをCDRにセットして再セットアップする場合）**
パソコンに付属の起動ディスクやWindowsで作成した起動ディスクでパソコンを起動しても、CDRは認識されません。CDRを使ってWindowsを再セットアップするには、付属の「リカバリCD-ROM起動ディスクユーティリティ」を使って、起動ディスクの内容を書き換える必要があります。詳しくは、別紙「Windows98/95を再セットアップする場合にお読みください」を参照してください。

仕様

インターフェース		IDE
アクセスタイム（平均）		220msec（ランダムアクセス時）
データバッファサイズ		1MB
転送速度	書き込み	600KB/sec（4倍速） 300KB/sec（2倍速） 150KB/sec（1倍速）
	読み出し	最大3000KB/sec（20倍速）
オーディオ出力端子		0.77Vrms
サイズ（W×H×D）		151×29×183(mm)
重量		650g
消費電力		平均：6W　最大：11W
動作環境	温度	5～35℃
	湿度	10～90％（結露無きこと）
対応パソコン機種		CardBus対応PCカードスロットを搭載する次の機種 ・DOS/Vノートパソコン（OADG仕様） ・NEC PC98-NXシリーズ ノートパソコン ・NEC PC-9821シリーズ ノートパソコン
対応IDEカード		付属の専用カードを使用
対応OS		Windows98、Windows95(4.00.950 B/4.00.950 C)

※ **最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。**

必要なパソコン環境

CD-Rの書き込みには、次のパソコン環境が必要です。

- CPU .... Pentium 133MHz 以上
- メモリ .... 32MB 以上
- ハードディスク空き容量 .... インストール時　約 10MB
  書き込み時　約50～800MB(*)

* 必要な空き容量は、書き込むデータの容量などにより異なります。また、オンザフライで書き込むときは、空き容量は必要ありません。

■保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

■ 修理について

故障と思われる症状が発生したときは、まずマニュアルを参照して設定や接続が正しいか確認してください。改善されない場合は、次の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付し、弊社修理センター宛に製品を直接お送りください。

① 返送先 [氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
② 平日昼間の連絡先
[氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 [始めから/ある日突然/環境を変えたら]
⑧ 発生頻度 [必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他]
⑨ コンピュータ [本体メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑩ ハードディスク [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑪ ディスプレイ [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑫ その他周辺機器 [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑬ OS(オペレーティング・システム)
[ソフト名/メーカ名/バージョン]
⑭ 製品以外の添付品 [付属ソフトなど]

製品送付先	〒456-0023 名古屋市熱田区六野2-1-3 中京倉庫内33号6階 株式会社メルコ 修理センター宛
電話番号	052-889-2104

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。
※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。
※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスクはフォーマットいたします。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。
※ 修理期間は、製品の到着後7日程度(弊社営業日数)を予定しております。

■ WinCDR、PacketCDのサポートについて

WinCDRユーザーガイドにとじ込まれているお客様登録カード(株式会社アプリックス)に、必要事項をご記入の上、必ず郵送してください。また、WinCDR、PacketCDの操作方法や製品情報は、「株式会社アプリックス ユーザサポート」までお問い合わせください。【「WinCDRユーザーガイド」1ページ参照】

※ 株式会社メルコでは、WinCDR、PacketCDに関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

CDR-P420ユーザーズマニュアル

1999年11月9日 第2版発行
発行 株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

（ミラーサーバ　http://www.melcoinc.com/）

@nifty

MELCO Station ＜GO SMELCO＞

FAX情報

052-614-6911

情報を受け取りたいFAXの電話でダイヤルし、音声案内に従って操作してください。

※プッシュ信号（ピ・ポ・パ音）の出るFAXを使用してください。

製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15
株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

＜東　京＞ 03-5350-7990

月～金　9:30～12:00/13:00～19:00　※祝日を除く
土 / 祝　9:30～12:00/13:00～17:00　※日曜日を除く

＜名古屋＞ 052-619-1188

月～金　9:30～12:00/13:00～17:00　※祝日を除く

※事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。

- ・コンピュータ名と使用OS
- ・本製品の製品名とシリアルナンバー
- ・現象（具体的なエラーメッセージなど）

「メルブック」シリーズ

①メモリを知ろう
②LANを知ろう
③外部記憶装置を知ろう
④Windowsを知ろう
⑤386マシンをマルチメディアパソコンにする
⑦CPUアクセラレータを知ろう
⑪イメージクリップセットとWordで年賀状をつくろう
⑫外部記憶装置をグレードアップしよう
⑬イメージクリップボードでホームページをつくろう
⑭インターネットを始めよう
⑮ミニコンポ 企業での導入事例

1冊1,000円＋送料270円　※書店では販売しておりません。

お申し込み先		
	1.インターネット	http://www.melcoinc.co.jp/qa/info3.html
	2.FAX情報	052-614-6911(BOX No.0800)
	3.郵送	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ 備品販売窓口